

氏名 <small>(法人にあっては名称)</small>	広島アルミニウム工業株式会社
住所	広島県広島市西区横川3丁目6-3
計画期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
基準年度(*1)	令和3年度

1 事業者の要件 ((1)、(2)については、特定年度(*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量)

該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> (1)原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上 (特定事業者) <input type="checkbox"/> (2)エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上 (特定事業者) <input type="checkbox"/> (3)特定事業者以外の事業者
------------	---

2 事業の概要

事業者の業種	アルミニウム・同合金ダイカスト製造業 (主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号：2353)
事業概要	車部品の製造

3 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4～令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4～令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*5)	25,527 t-CO ₂	24,225 t-CO ₂	26,211 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		5.1 %	-2.7 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*6)		24,225 t-CO ₂	26,211 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		5.1 %	-2.7 %	%	%	%
実績に対する自己評価	不良増					

*1 基準年度とは、温室効果ガスの抑制割合を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去3か年度の平均値とすることができる。

*2 特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。

*3 原油換算エネルギー使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。

*4 温室効果ガス排出量とは、二酸化炭素(エネルギー起源のもの及び非エネルギー起源のもの)、メタン、一酸化二窒素、六フッ化硫黄、パーフルオロカーボン及び六フッ化硫黄)の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものをいう。

*5 温室効果ガス実排出量とは、上記(*4)のうちエネルギー起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ガス排出量が特定事業者単位で3,000トン以上のものの排出量の合算をいう。

*6 温室効果ガスみなし排出量とは、上記(*5)に対して環境価値(*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ガスみなし排出量は、温室効果ガス実排出量と等しくなる。

(2) 事業分類ごとの原単位(*7)の抑制に関する目標の達成状況 (※任意記載)

(※原単位の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$)

事業分類	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
素材鋳造	2.015	1.9122	4.04			
		5.1 %	-100.5 %	%	%	%
素材加工・樹脂	0.93	0.8826	2.06			
		5.1 %	-121.5 %	%	%	%
		%	%	%	%	%
原単位の指標及び実績に対する自己評価	新規のロスエネルギー増加					

(3) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

新規部品の立ち上げに伴うロス増加

(4) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値(*8)の活用等)

新規部品の立ち上げに伴うロス増加

4 その他の取組の実施状況

2022年4月~2023年3月
再生可能エネルギー由来の電気購入 (15%)

*7 原単位とは、温室効果ガス排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいう。
*8 環境価値とは、オフセットクレジット制度等により、温室効果ガスの排出削減等を行うプロジェクトを通じて生成される温室効果ガスの削減量等をいう。なお、温室効果ガスみなし排出量(*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	白木工場
事業所の所在地	広島市安佐北区白木町秋山753-3
事業所の業種	アルミニウム・同合金ダイカスト製造業
事業の概要	アルミニウムによる自動車部品加工

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下限は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	7,518 t-CO ₂	7,135 t-CO ₂	7,299 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		5.1 %	2.9 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		7,135 t-CO ₂	7,299 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		5.1 %	2.9 %	%	%	%
実績に対する自己評価	前年比では減産に伴う電力使用量の減少により、CO2排出量が減少している。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

電気使用量低減

- ・照明設備LED(無極)化 ⇒ 35台更新、607kWh/年の削減
- ・コンプレッサ負荷の低減 ⇒ ブロアーの間欠運転化トライによるエア消費量低減
- ・長期停止および休日の設備停止時電源OFF、コンプレッサ停止を実施

LPG使用量低減

- ・室内機フィルター定期交換実施による熱交換器の効率維持
- ・設定温度の監視による使用量低減継続中

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況(環境価値の活用等)

なし

2 その他の取組の実施状況

ISO14001の取り組み

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	可部工場
事業所の所在地	広島市安佐北区大林4丁目1-1
事業所の業種	アルミニウム・同合金ダイカスト製造業
事業の概要	アルミニウムによる自動車部品の鋳造自動車部品加工

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	13,563 t-CO ₂	12,871 t-CO ₂	14,679 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		5.1 %	-8.2 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		12,871 t-CO ₂	14,679 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		5.1 %	-8.2 %	%	%	%
実績に対する自己評価	基準年度に対し生産量増の為、実排出量は増えているが、抑制に関する措置は実施しており、生産量同等ベースで考えると低減できている。					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 1. 照明のLED化展開 2. 溶解炉補修による放熱低減 3. 空気圧縮機の点検整備 4. モーターインバーター制御 5. 製品冷却ファン制御

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値の活用等)

特になし

2 その他の取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 1. 非可動低減活動 (故障・不良) 2. マシンサイクルアップ

大規模事業所ごとの温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置及び目標の実施状況等

(※大規模事業所を設置していない事業者は提出不要)

事業所の名称	安佐工場
事業所の所在地	広島市安佐北区亀山9丁目34-1
事業所の業種	アルミニウム・同合金ダイカスト製造業
事業の概要	自動車部品加工

1 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下限は削減量の対基準年度比 $((a-b)/a) \times 100$ (aは基準年度の実排出量))

項目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4~令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4~令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*4)	3,681 t-CO ₂	3,383 t-CO ₂	4,014 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		8.1 %	-9.0 %	%	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*5)		3,383 t-CO ₂	4,014 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
		8.1 %	-9.0 %	%	%	%
実績に対する自己評価	コロナ及び半導体不足からの回復、新規製品の受注などにより電力使用量が増加した事により排出量も増加した					

(2) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサーの設定圧力見直しによるエア使用量低減 ・LED照明への切り替え
--

(3) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況 (環境価値の活用等)

特になし

2 その他の取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・IS014001活動の継続 ・1ヶ月に1回の環境勉強会の実施 ・2ヶ月に1回の環境分科会の実施 ・省エネ技術、製品に関する情報収集
